

LOVE LIFE!

(YOUR)

まいにちが
アート

2019年
4月27日(土) - 6月30日(日)
和歌山県立近代美術館

出品目録

◇作者名、作品名、制作年、技法・材質、寸法(縦×横×奥行cm)、所蔵等について、ほぼ展示順に記載しています。
◇所蔵について表記のないものは当館蔵です。

ひとは、

美術作品には、しばしば、私たちが日々の暮らしの中で親しんでいる「もの」や「こと」がテーマやモチーフとして登場します。しかしそれらは、ときに作品の中では見慣れないかたちに変容されていて、微妙な違和感やズレをもたらします。作品を前にして「おやっ？」と思うとき、その作品は私たちに、よく見て、考えることを促しているのです。

こうした、どこか不思議な美術作品を作るひとたちは、特別な、変わったものの見方をするひとたちなのだと思うかもしれません。しかし、彼らも私たちと同じように、寝て、食べて、学んで、仕事をして、いろいろなひとに会って生活している人間です。そう考えると、美術作品の制作という、こんなに不思議な作業を繰り返しているひとたちと、彼らの作ったものを理解してみたくなりま

せんか。

最初のコーナーでは、作り手たちの「ひと」としての姿をご覧くださいませ。自らの姿を描いた自画像があり、彼らにとって大切な存在である家族や友人の肖像があります。その表現は、伝統的なものもあれば、ちょっと変わったものもあります。これは作者自身の姿、あるいは誰かの肖像なのだとわれなければ、わからないものもあるかもしれません。

どうしてこんな表現にしたのかと疑問を持つこと、それが私たちと作品との対話の始まりです。自分で考えるだけでなく、ほかのひとにも聞いてみてはどうでしょう。もしかしたら思いもよらない新しい見方が得られるかもしれません。

巽嘔	Broken Heart	1968 (昭和 43)	シルクスクリーン、紙	53.0×51.5×3.2	
松本 竣介	三人	1943 (昭和 18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5	個人蔵
村井 正誠	自画像 (太い線)	1974 (昭和 49)	油彩、キャンバス	162.2×130.6	作者寄贈
森村 泰昌	だぶらかし 肖像 A	1988 (昭和 63)	写真	各 120.1×120.0	
	だぶらかし 肖像 B				
	だぶらかし 肖像 C				
	だぶらかし 肖像 D				
ダイン、ジム	14色の木版によるバスローブ	1982 (昭和 57)	木版、紙	166.7×90.3	
ルフ、トーマス	肖像 (G. ベルツ)	1988 (昭和 63)	写真	201.2×156.0	
クロス、チャック	フィル	1982 (昭和 57)	ペーパーパルプ	130.4×105.8	
今村 源	2008-11 わたし I	2008 (平成 20)	鉛筆、木炭、パステル、紙	90.5×63.0	田中恒子氏寄贈
	2008-11 わたし II	2008 (平成 20)	木炭、紙	84.1×59.3	田中恒子氏寄贈
	2008-11 わたし III	2008 (平成 20)	鉛筆、紙	90.0×63.0	田中恒子氏寄贈
	2008-11 わたし IV	2008 (平成 20)	パステル、紙	90.0×63.0	田中恒子氏寄贈
	2008-11 わたし V	2008 (平成 20)	木炭、紙	90.0×63.0	田中恒子氏寄贈

巽 嘸	Mr. & Mrs. Rainbow noppo R-V	1976 (昭和 51)	シルクスクリーン、紙	141.8×50.4	
野田 哲也	日記 1973年10月25日	1973 (昭和 48)	木版・シルクスクリーン、紙	50.7×71.3	
	日記 1976年2月15日	1976 (昭和 51)	木版・シルクスクリーン、紙	46.6×70.4	
	日記 1977年8月10日	1977 (昭和 52)	木版・シルクスクリーン、紙	79.0×42.8	
	日記 1978年6月24日	1978 (昭和 53)	木版・シルクスクリーン、紙	79.0×42.6	堀内俊男氏寄贈
	奈良 美智	どんまいQちゃん	1993 (平成 5)	木、彩色	123.0×37.5×43.5
建畠 大夢	子供	1917 (大正 6) /	ブロンズ	91.5×37.5×20.2	建畠覚造氏寄贈
		1994 (平成 6) 鑄造			
保田 春彦	父の像	1951 (昭和 26) /	ブロンズ	65.0×53.0×28.0	
		2013 (平成 25) 鑄造			
中ハシ 克シゲ	Second Marriage	1990 (平成 2)	ブロンズ、トタン、銅線、御影石、他	145.0×300.0×150.0	

まいにち

ここからは、作品の作り手たちと私たちが共有する「生活」という側面に目を向けてみましょう。まずは、今日ここに来る前の家の様子を思い出してみてください。庭の風景や室内、テーブルの上に散らばった本やノート、活けた一輪の花…どんなものを思い浮かべましたか。ここに並んだ作品の中に、共通するものはあるでしょうか。作り手たちはこういった毎日の生活のどこかに、面白さやヒントを見いだして作品を作っています。さてそれぞれの作品で、彼らがどこに目を向けたのか、想像できますか。

身の回りのものだけではありません。食べること、遊ぶこと、学ぶこと、働くことなど、私たちが行う活動も日常生活の一部であり、作品のテーマになっていきます。

するとどうでしょう。ただ繰り返すだけの毎日が、ひとつひとつ違ったおもしろいことの積み重ねであったり、かけがえのないものであったりすることに気づかされはしないでしょうか。作り手たちの目には、毎日は不思議なことで満ちているようです。

しかしその日常の光景を見つめるまなざしが、私たちより強く、深いとき、表現されているものがあまりにも特殊に見えることもあります。けれどそれは見方を変えれば、私たちには思いもよらない方法で、毎日の暮らしを見つめ直すヒントを与えてくれているのです。彼らの視点を通して、私たちの毎日の暮らしを見つめ直しましょう。手がかりは私たちのなかにあります。

高井 貞二	煙	1933 (昭和 8)	油彩、キャンバス	91.1×117.0	高井志づ氏寄贈
	想ひを	1935 (昭和 10)	油彩、キャンバス	112.5×145.8	作者寄贈
佐伯 祐三	広告のある門	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	59.9×73.2	玉井一郎氏寄贈
	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	60.0×73.1	玉井一郎氏寄贈
裕 伊之助	台所	1935 (昭和 10)	石版、紙	73.8×53.7	中畑艸人氏寄贈
	朝顔	1935 (昭和 10)	石版、紙	74.5×54.0	中畑艸人氏寄贈
野長瀬 晩花	五月の庭	1956 (昭和 31)	顔料、紙	103.1×163.2	坂勤三氏寄贈
稗田 一穂	初夏の庭	1936 (昭和 11)	顔料、絹	103.2×168.0	作者寄贈
グドナソン, トーキル	無題	1992 (平成 4)	写真	183.0×124.8	和歌山版画ビエンナーレ展 実行委員会寄贈
	無題	1992 (平成 4)	写真	186.2×127.0	作者寄贈
山本 桂右	無題	1992 (平成 4)	写真	186.0×126.8	作者寄贈
	光・時間・静寂 No.12	1995 (平成 7)	石版、紙	60.0×85.0	作者寄贈
建畠 覚造	光・時間・静寂 No.6	1995 (平成 7)	石版、紙	59.9×85.0	作者寄贈
	光・時間・静寂 No.5	1995 (平成 7)	石版、紙	59.9×85.0	作者寄贈
	光・時間・静寂 No.13	1995 (平成 7)	石版、紙	60.0×85.1	作者寄贈
	室内 1	1979 (昭和 54)	木、鏡、鉄	各 45.0×45.0×8.0	
村井 正誠	室内 2				
	室内 3				
	室内 4				
	室内 5				
	形象 A	1939 (昭和 14)	油彩、板	89.4×145.8	作者寄贈
川口 軌外	貝殻	1936 (昭和 11)	油彩、キャンバス	80.4×115.2	川口京村氏寄贈
建畠 覚造	PILED CUP 2 (大)	1996 (平成 8)	木、FRP、鉛	140.7×41.1×41.1	作者寄贈
小枝 繁昭	Still Life on the Table #3	1990 (平成 2)	シルクスクリーン・ アクリル絵具、紙	179.3×117.8	和歌山版画ビエンナーレ展 実行委員会寄贈

上田 薫	スプーンのジャム B	1975 (昭和 50)	油彩、キャンパス	181.9×227.3	
大久保 陽平	SUPONJI	2015 (平成 27)	磁器	サイズ可変	個人蔵
ピカソ, パブロ	貧しき食事	1904 (明治 37) / 1913 (大正 2)	銅版、紙 刷り	46.3×38.0	
ファン・ゴッホ, フィンセント	馬鈴薯を食べる人々	1885 (明治 18)	石版、紙	26.5×31.9	個人蔵
浜口 陽三	朝食	1957 (昭和 32)	銅版、紙	29.2×36.2	
深沢 幸雄	めし	1956 (昭和 31)	銅版、紙	23.8×17.7	作者寄贈
林 康夫	ホットケーキ	1971 (昭和 46)	陶	18.0×33.0×32.0	
パラモデル	"極楽百景 第八景 -新世界 八重勝 ニュー配達-"	2007 (平成 19)	写真	100.0×120.0	田中恒子氏寄贈
	トミ串 (4点)	2007 (平成 19)	ミニカー、食品サンプル、 アルミ製トレイ、他	各 5.0×25.0×19.0	田中恒子氏寄贈
	トミ串 (4点)	2007 (平成 19)	ミニカー、食品サンプル、 アルミ製トレイ、他	各 5.0×30.0×25.0	田中恒子氏寄贈
間島 領一	日の丸弁当	1997 (平成 9)	サンプル米、弁当箱、フォルモ粘土	3.0×9.0×13.0	個人蔵
古賀 春江	海水浴	1922 (大正 11)	油彩、キャンパス	91.3×117.0	
瑛 九	自転車	1956 (昭和 31)	油彩、キャンパス	50.0×60.8	
保田 龍門	読書	1921 (大正 10)	油彩、キャンパス	65.5×53.0	保田淳子氏寄贈
木下 義謙	読書の母	1922 (大正 11)	油彩、キャンパス	41.2×32.0	作者寄贈
福井 良之助	青山学院初等部テキスト『LET'S SING!』	1955(昭和 30)	謄写版、紙 (冊子)	20.1×17.9×0.5	額賀敦子氏寄贈
	青山学院初等部『My First English Book of Words』	1950年代	謄写版、紙 (冊子)	20.7×18.2×0.4	額賀敦子氏寄贈
	青山学院初等部『自由帳』	1950年代	謄写版、紙 (冊子)	14.8×21.3×0.3	額賀敦子氏寄贈
	青山学院初等部宿題帳『ローマ字の勉強』	1956(昭和 31)	謄写版、紙 (冊子)	20.1×14.2×0.3	額賀敦子氏寄贈
	青山学院初等部テキスト『American English Series vol. 1』	1950年代	謄写版、紙 (冊子)	23.5×15.8×0.8	額賀敦子氏寄贈
	青山学院初等部テキスト『American English Series vol. 1』	1959(昭和 34)	謄写版、紙 (冊子)	21.0×15.0×0.7	額賀敦子氏寄贈
	青山学院初等部テキスト『American English Series vol. 2』	1959(昭和 34)	謄写版、紙 (冊子)	21.0×15.0×0.6	額賀敦子氏寄贈
高井 貞二	支那の市場	1939 (昭和 14)	油彩、キャンパス	130.0×162.6	作者寄贈
	松花江の船出	1941 (昭和 16)	油彩、キャンパス	130.4×161.6	作者寄贈

つくる。

もうひとつ、作り手たちと私たちに共通することがあります。それは、作ることです。この展示室に並んだ作品は、美術作品として作られたものですが、美術だけが作るこの目的ではありません。私たちは毎日ご飯を作り、着るものを整え、ノートに文字を書きます。誰かに注目されたり賞賛されたりすることはなくとも、繰り返し、何かを作っています。実際に仕事でさまざまなものを作る人もいます。それを手に取る人のことを考えて、私たちは手を動かしています。

ここでは、こういった作るという行為に着目した仕事をご紹介します。ひとつの行為を繰り返し、根気強く制作された作品たちは、なにか特別な引力を持っているよ

うに感じられます。それは縫うことや編むこと、書くことなど私たち人間の根源的な営みと直接むすびついているからかもしれません。では私たちの「作る」仕事と、美術作品の制作のあいだには、ほかにどんな違いがあるのでしょうか。

最後のコーナーでは、私たちの LIFE (ライフ)、つまり生命そのものが終わることを考えます。これは作り手たちと私たちが共有する最大の共通項です。生まれたものは必ず亡くなりますが、それは「無くなる」こととは違います。「ひとは、まいにちつくる」。そこに目を向ければ、生きることは残すことでもあるのです。

—Love your Life!

井上 武吉	手	制作年不詳	ブロンズ	21.3×10.3×13.3	保田春彦氏寄贈
森口 宏一	動詞の習作・持つ	1975 (昭和 50)	ステンレススチール、アルミ	22.0×22.0×22.0	森口まどか氏寄贈
	動詞の習作・差し出す	1975 (昭和 50)	ステンレススチール、アルミ	3.8×30.0×21.0	森口まどか氏寄贈
	動詞の習作・開く	1975 (昭和 50)	ステンレススチール、アルミ	2.0×30.0×42.0	森口まどか氏寄贈

ヴァラマネシュ, ホセイン	CHANGE OF SEASONS (5点)	1997 (平成9)	白樺皮 蓮の葉 樺の皮 百日紅の葉 鉛	各 51.0×40.5×9.5	田中恒子氏寄贈
ゴールズワージー, アンディ	光をとらえるように折り重ねられた葉／大内山村／1987年11月24日	1987 (昭和62)	写真、テキスト	70.4×210.5/ 52.2×43.3	
李 禹煥	点より	1980 (昭和55)	岩彩、キャンパス	193.9×258.8	
	関係項-A	1979 (昭和54)	木版、紙	59.8×80.8	
	関係項-B	1979 (昭和54)	木版、紙	60.0×80.8	
手塚 愛子	縫う絵	2005 (平成17)	布、糸	直径 67.0	田中恒子氏寄贈
アックリング, ロジャー	潮岬	1996 (平成8)	木、太陽光線	12.0×7.8×4.0	作者寄贈
	潮岬	1996 (平成8)	木、太陽光線	29.2×17.6×1.0	作者寄贈
桑原 盛行	一つの円へ	1990 (平成2)	アクリル絵具、和紙、麻布	130.5×89.5	田中恒子氏寄贈
	一つの円へ	1990 (平成2)	アクリル絵具、和紙、麻布	130.5×89.5	田中恒子氏寄贈
名和 晃平	Element #2	2002 (平成14)	シルクスクリーン、紙	76.0×57.0	
	Element #4	2002 (平成14)	シルクスクリーン、紙	76.0×57.0	
佐藤 時啓	Shirakami #2	2008 (平成20)	写真	126.2×103.2	作者寄贈
	Shirakami #3	2008 (平成20)	写真	126.2×103.2	作者寄贈
	Shirakami #4	2008 (平成20)	写真	126.2×103.2	作者寄贈
	Shirakami #8	2008 (平成20)	写真	126.2×103.2	作者寄贈
	Hakkoda #4	2009 (平成21)	写真	126.2×103.2	作者寄贈
	Hakkoda #9	2009 (平成21)	写真	126.2×103.2	作者寄贈
関島 寿子	盒	2003 (平成15)	ツツラフジ	24.0×27.0×28.0	田中恒子氏寄贈
	束の間 III	2008 (平成20)	ジャスミン蔓、ケヤキ樹皮	21.0×21.0×24.0	田中恒子氏寄贈
	#440 無題かご	1998 (平成10)	ヤナギ樹皮	15.0×18.0×17.5	田中恒子氏寄贈
國政 聡志	tsubo	2012 (平成24)	結束バンド、ビニールチューブ	102.0×55.0×55.0	田中恒子氏寄贈
三上 誠	環・経絡	1967 (昭和42)	顔料、紙	120.9×179.1	
太田 三郎	POST WAR 72 世紀の遺書	2017 (平成29)	コピー、紙	各 30.0×21.0	田中恒子氏寄贈
	1 大場金次				
	2 白岩 定夫				
	3 石上 保				
	4 岩広 一二				
	5 桑島 恕一				
	6 吉田 昌司				
	7 野口 秀夫				
	8 緑川 寿				
	9 江草 忠義				
	10 星 愛喜				
	11 日高 己雄				
	12 岩田 光儀				
	13 甲村 武雄				
	14 海老根 七之助				
	15 中村 武男				
	16 安部 末男				
	17 浜崎 直記				
	18 菅原 亥三郎				
	19 平野 庫太郎				
	20 木村 保				
横尾 忠則	葬列 I	1969 (昭和44)	シルクスクリーン、アクリル板	74.8×113.6×9.5	
	葬列 II	1969 (昭和44)	シルクスクリーン、アクリル板	74.7×114.0×9.5	
星野 眞吾	喪中の作品 A	1965 (昭和40)	顔料、紙	180.6×89.5	